

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第50週の発生動向

トピックス

インフルエンザ (定点把握対象) : 県内の定点当たり報告数が 2.8 と流行開始の目安となる定点当たり 1.0 を上まわりました。昨年と比較して 2 週間早い流行入りです。県内では 3 名からインフルエンザ AH3 型が検出されています。詳細後述。

全数報告の感染症 (50 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症 : 報告なし。2 類感染症 : 結核 5 例。3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
4 類感染症 : 日本紅斑熱 1 例、つつが虫病 5 例。5 類感染症 : 報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	20 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			40 歳代	男	肺結核	検診CXP異常
			70 歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80 歳代	女	無症状病原体保有者	—
		高千穂	70 歳代	男	肺結核	呼吸困難
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	1~4歳	男	患者	腹痛、血便 O121(VT2産生)
4類	日本紅斑熱	宮崎市	60 歳代	男	患者	発熱、刺し口、発疹、DIC、肝機能異常、腎機能障害、中枢神経障害
	つつが虫病	都城	80 歳代	男	患者	頭痛、発熱、刺し口
		日南	5~9歳	女	患者	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹
			30 歳代	女	患者	頭痛、発熱、刺し口
		小林	70 歳代	女	患者	発熱、刺し口、発疹
				頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹		

《前週との比較》

定点把握の対象となる 5 類感染症

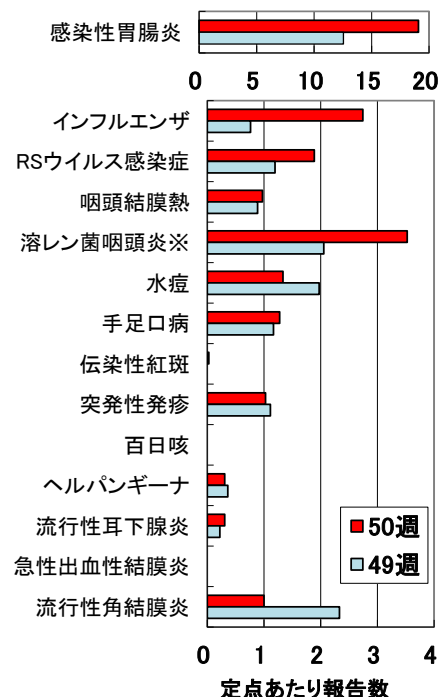
・定点医療機関からの報告総数は 1,240 人 (定点あたり 33.6) で、前週比 137% と大幅に増加した。前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は水痘とヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

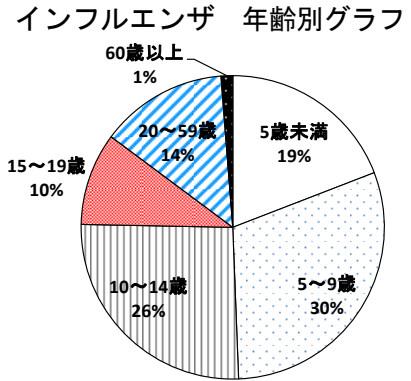
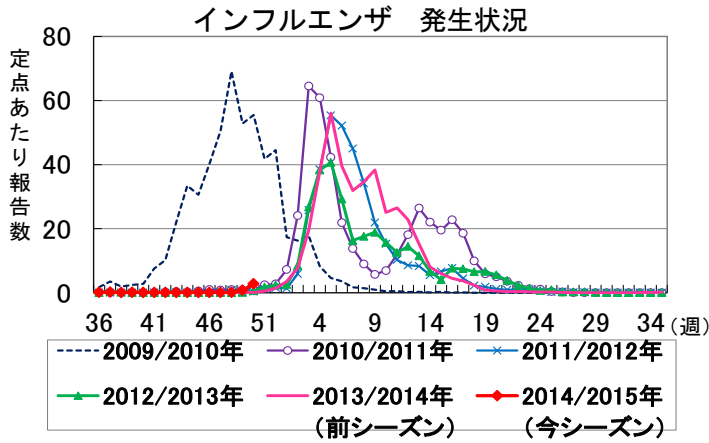
【インフルエンザ】

・報告数は 162 人 (2.8) で、前週比 360% と大幅に増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (0.79) の約 3.5 倍であった。年齢別では 5 歳未満が全体の 19%、5-9 歳が 30%、10-14 歳が 26%、15-19 歳が 10%、20-59 歳が 14%、60 歳以上が 1% を占めた。

* 過去 4 年間の当該週、前週、後週 (計 12 週) の平均値



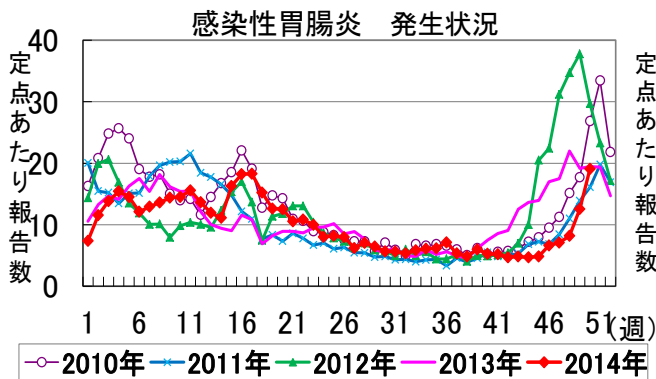
※ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



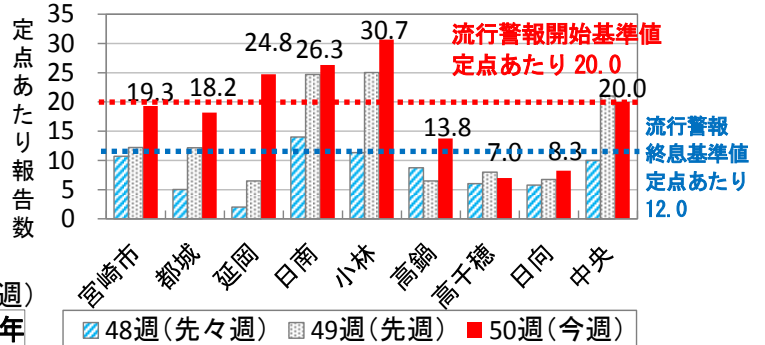
【感染性胃腸炎】

・報告数は687人(19.1)で、前週比152%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(20.1)と同程度であった。小林(30.7)、日南(26.3)、延岡(24.8)、中央(20.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約4割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	感染性胃腸炎(24.8)
日南	インフルエンザ(22.0)、感染性胃腸炎(26.3)
小林	感染性胃腸炎(30.7)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	水痘(5.0)
中央	感染性胃腸炎(20.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

・感染性胃腸炎(20.0)

* 流行注意報レベル基準値*

・インフルエンザ(10.0)

・水痘(4.0)

★基幹定点からの報告★

○無菌性髄膜炎：都城保健所管内から1例報告された。患者は5ヶ月で、病原体はRSウイルス。

□ 病原体検出情報(衛生環境研究所微生物部 平成26年12月15日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
O111(×40倍)O111抗原凝集抗体(+)	0~4	女	2014.11.26	HUS、発熱(38.5℃)、下気道炎、気管支炎、出血傾向、胃腸炎、下痢、嘔気、嘔吐、腎機能不全、血尿、蛋白尿	血清	2014.11.28

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取日	臨床症状等	検出材料	検出日
コクサッキーウイルスA16	0～4歳	女	2014.10.27	手足口病、発疹	咽頭ぬぐい液	2014.12.11
コクサッキーウイルスA10	0～4歳	女	2014.10.29	ヘルペス口内炎、39.9℃	咽頭ぬぐい液	2014.12.11
インフルエンザウイルスAH3型	80歳代	女	2014.12.03	インフルエンザ、38.4℃	咽頭ぬぐい液	2014.12.04
インフルエンザウイルスAH3型	80歳代	女	2014.12.03	インフルエンザ、発熱、咳	咽頭ぬぐい液	2014.12.04
インフルエンザウイルスAH3型	80歳代	女	2014.12.03	インフルエンザ、発熱、咳	咽頭ぬぐい液	2014.12.04
RSウイルス、ライノウイルス	0～4歳	女	2014.11.25	気管支炎、下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2014.12.08
RSウイルス、ライノウイルス	0～4歳	女	2014.12.03	RSウイルス喘息様気管支炎、下気道炎(肺炎、気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2014.12.08
RSウイルス	0～4歳	女	2014.11.28	急性細気管支炎、下気道炎(気管支炎)、39℃	咽頭ぬぐい液	2014.12.08
RSウイルス	0～4歳	女	2014.12.01	気管支炎、発熱、下気道炎(肺炎、気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2014.12.08
RSウイルス	0～4歳	男	2014.12.04	RSV細気管支炎、細菌性気管支炎、発熱、下気道炎(肺炎、気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2014.12.08
ライノウイルス	0～4歳	女	2014.12.01	喘息様気管支炎、下気道炎(気管支炎)、39℃	咽頭ぬぐい液	2014.12.08
ライノウイルス	0～4歳	男	2014.12.02	RSウイルス喘息様気管支炎、下気道炎(気管支炎)	咽頭ぬぐい液	2014.12.08
ライノウイルス	0～4歳	男	2014.12.04	急性肺炎、下気道炎(肺炎、気管支炎)、39.0℃	咽頭ぬぐい液	2014.12.08

○手足口病と診断された小児からコクサッキーA16 が分離された。

○ヘルペス口内炎と診断された小児からコクサッキーA10 が分離された。コクサッキーA10 は、手足口病やヘルパンギーナ等で分離されることがあるが、宮崎県においては2003年以降の分離である。

○インフルエンザと診断された高齢者3名からインフルエンザAH3型が検出された。宮崎において今シーズン初めての集団発生事例である。

○気管支炎、下気道炎を有する乳児から、ライノウイルスが3名、RSウイルスが3名検出された。またライノウイルス及びRSウイルスの重複感染が2名認められた。今年の秋以降、RSウイルスが流行しており、また宮崎では、RSウイルスとライノウイルスの重複感染者もみられ、10月からの累計で4件検出されている。RSウイルスは、乳幼児における肺炎の約50%、細気管支炎の50～90%を占めると報告されており、今回も肺炎は5例中3例、細気管支炎は全例に認められた。また、ライノウイルスは普通感冒の病因ウイルスであるが、小児の喘息・喘鳴の増悪に関与しているとの報告もある。RSウイルスとライノウイルスの重複感染により重症化するおそれもあるため、感染予防対策を十分に必要がある。

📊 全国第49週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第49週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	313例				
3類感染症	細菌性赤痢	1例	腸管出血性大腸菌感染症	39例	パラチフス	1例
4類感染症	E型肝炎	3例	オウム病	1例	重症熱性血小板減少症候群	1例
	つつが虫病	15例	デング熱	2例	レジオネラ症	16例
5類感染症	アメーバ赤痢	14例	ウイルス性肝炎	4例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	9例
	急性脳炎	7例	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例
	後天性免疫不全症候群	16例	ジアルジア症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	34例	水痘（入院例）	8例	梅毒	21例
	播種性クリプトコックス症	1例	風しん	2例	麻しん	1例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比127%と増加した。今週増加した疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎で、減少した疾患はなかった。

インフルエンザの報告数は17,192人(3.5)で、前週比184%と増加した。岩手県(11.6)、埼玉県(9.5)、福島県(7.7)からの報告が多く、年齢別では5歳以下が全体の約21%、6～9歳が29%、10～14歳が28%、15～19歳が4%、20～59歳が15%、60歳以上が3%を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は30,326人(9.6)で、前週比126%と増加した。大分県(22.9)、佐賀県(18.0)、福岡県(16.3)からの報告が多く、年齢別では1～4歳が全体の約半数を占めた。

月報告対象疾患の発生動向 <11月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は35人(2.7)で、前月比88%と減少した。また、昨年11月(3.8)の約0.7倍であった。

《疾患別》

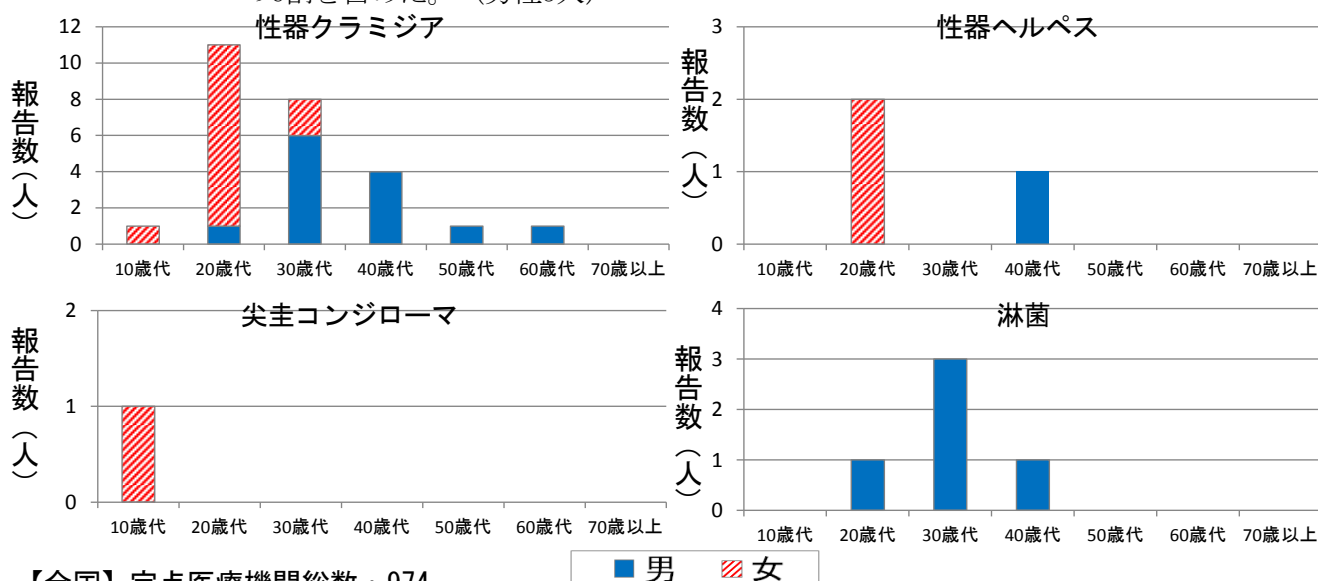
○性器クラミジア感染症：報告数26人(2.0)で、前月と同程度、昨年11月の約0.7倍であった。年齢別では20歳代が全体の約4割を占めた。

(男性13人・女性13人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人(0.23)で、前月の1.5倍、昨年11月と同じであった。(男性1人・女性2人)

○尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、前月と同じ、昨年11月の0.5倍であった。(女性1人)

○淋菌感染症：報告数5人(0.38)で、前月の0.5倍、昨年11月の約0.7倍であった。30歳代が全体の6割を占めた。(男性5人)



【全国】 定点医療機関総数：974

定点医療機関からの報告総数は3,755人(3.9)で、前月比88%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,928人(2.0)で前月比87%、性器ヘルペスウイルス感染症693人(0.71)で前月比92%、尖圭コンジローマ453人(0.47)で前月比94%、淋菌感染症681人(0.70)で前月比81%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は21人(3.0)で前月比140%と増加した。また昨年11月(2.6)の約1.2倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数20人(2.9)で、前月の約1.3倍、昨年11月の約1.1倍であった。70歳以上が全体の7割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)であった(前月及び昨年11月報告なし)。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：474

定点医療機関からの報告総数は1,565人(3.3)で、前月比96%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,369人(2.9)で前月比95%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症180人(0.38)で前月比103%、薬剤耐性緑膿菌感染症16人(0.03)で前月比75%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第50週(12月08日～12月14日)

疾病名		第49週	第50週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	45	162	20	12		110	6	6	6	2	
	定点あたり	0.76	2.75	1.25	1.20	0.00	22.00	1.20	1.00	3.00	0.33	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	43	68	18	23	4	4	1	5	11	2	
	定点あたり	1.19	1.89	1.80	3.83	1.00	1.33	0.33	1.25	11.00	0.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	32	35	9	9	7	6				4	
	定点あたり	0.89	0.97	0.90	1.50	1.75	2.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	74	127	78	8	12	8	2	6	3	9	1
	定点あたり	2.06	3.53	7.80	1.33	3.00	2.67	0.67	1.50	3.00	2.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	452	687	193	109	99	79	92	55	7	33	20
	定点あたり	12.56	19.08	19.30	18.17	24.75	26.33	30.67	13.75	7.00	8.25	20.00
水痘	報告数	71	48	9	4	11	1		3		20	
	定点あたり	1.97	1.33	0.90	0.67	2.75	0.33	0.00	0.75	0.00	5.00	0.00
手足口病	報告数	42	46	6	13	8	6	2	5	4		2
	定点あたり	1.17	1.28	0.60	2.17	2.00	2.00	0.67	1.25	4.00	0.00	2.00
伝染性紅斑	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	40	37	7	5	13	3	2	3		2	2
	定点あたり	1.11	1.03	0.70	0.83	3.25	1.00	0.67	0.75	0.00	0.50	2.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	13	11	5		1	3		2			
	定点あたり	0.36	0.31	0.50	0.00	0.25	1.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	8	11	3	1	2			2		3	
	定点あたり	0.22	0.31	0.30	0.17	0.50	0.00	0.00	0.50	0.00	0.75	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	6	5		1						
	定点あたり	2.33	1.00	1.67	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1		1							
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～50週)

2類感染症	結核	237例(5)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	31例(1)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	11例
	つつが虫病	21例(5)	日本紅斑熱	6例(1)	ボツリヌス症	1例
	レジオネラ症	13例				
5類感染症	ア메ーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム腸内細菌感染症	3例
	急性脳炎	5例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
	後天性免疫不全症候群	13例	ジアルジア症	1例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	11例	梅毒	11例	破傷風	1例
	風しん	3例	麻しん	4例		

()内は今週届出分、再掲